

○ 第 3 回 小牧市自殺対策計画策定委員会での意見とその対応等

第 4 回策定委員会 資料 1

	委員からの質問、提案、いただいた意見等	対応等
1	S N S などを活用した普及啓発について	
	・多くの若者たちは S N S などを利用しているため、動画等を活用して普及啓発してはどうか。	⇒ S N S の活用については、市のフェイスブックやツイッター等で動画も活用し普及啓発を図ります。
2	第 3 回委員会資料 2 P2 の関連図について 第 4 回委員会資料 2 P2 の関連図について	
	・素案の P 2 にある N P O 法人自殺対策支援センター ライフリンク作成の「背景にある主な自殺の危機経路のイメージ」に書かれている要因の大きさは何を意味するのか。	⇒ N P O 法人 自殺対策支援センター ライフリンクが遺族の方に本人の背景や自死される前の状態などを調査する「自殺実態 1000 人調査」を実施。523 人に調査した分析結果から、自殺の危険因子となりえるものは 69 個あり、その中でも多くの要因となるものは大きい○で表記されています。
3	第 3 回委員会資料 2 P7 従業上の地位別就業者数の推移について 第 4 回委員会資料 2 P7 従業上の地位別就業者数の推移について	
	・正規雇用者と非正規雇用者の割合を年度で比較すると非正規雇用労働者が増えている。勤労者の希望で増加しているのか他に理由があるのか。	⇒ 国勢調査は総務省統計局が実施するもので、平成 22 年度調査では、従来雇用者の内訳が「常雇」「臨時雇」であったものを、雇用形態の変化に対応するため「正規の雇用・従業員」、「労働者派遣事業所の派遣社員」及び「パート・アルバイト・その他」に変更されました。雇用形態が勤労者の希望か否かについては不明です。
4	第 3 回委員会資料 2 P17②の表記について 第 4 回委員会資料 2 P17②の表記について	
	・②30～50 歳代の自殺者に関する表記は、P10 人口動態統計の資料だけでなく、他の資料からも読み取れるため、参考資料を追記すべき。	⇒ ・ P10 だけでなく、P11～13 についても資料となりますので、特徴と課題の表記についても修正しました。
5	第 3 回委員会資料 2 P17、42、43、46、47、48「特徴と課題」の表現について 第 4 回委員会資料 2 P17、44、45、46、49、50、51、52「特徴と課題」の表現について	
	「特徴と課題」から見える課題の表現について ・「～が必要です」という表現では、他の項目が必要ないように感じるため表現を改めるべし。 ・統一性がないので、全ての章において統一すべき。 ・表や図に通し番号が付けられていない。 ・西暦年、和暦年について統一すべき。	⇒ ・ 課題に対してすべてが必要な取り組みのため、「必要です」と表記します。特に重要な取組については「重要です」と表記しました。 ・ 分析の文章については「必要です」「重要です」という表現で統一しました。 ・ 表、図について通番を設けました。 ・ 1 章以外については西暦年で統一しました。
6	第 3 回委員会資料 2 P42④の表現について 第 4 回委員会資料 2 P45④の表現について	
	「命の大切さを伝えていく必要があります」の表記は、自死遺族にとって「命を大切にしていない」誤解を招く。「生きやすい社会」、「環境づくり」を考えていくなどの表現の変更が必要。	⇒ 「誰もが自殺に追い込まれないような生きやすい社会・地域づくりが必要です。」という表現に改めました。

7	第3回委員会資料2 P29の表現について 第4回委員会資料2 P29の表現について	
	表から分析される表現について、「身近な人への相談を諦めているように受け取れる」文言のため修正が必要。	⇒「相談することができず、孤立しやすいことが推測されます。」の文言に修正しました。
8	第3回委員会資料 P20、37、43⑤職業別自殺に関する意識について 第4回委員会資料 P20、38、45⑤職業別自殺に関する意識について	
	・自殺を考えた有無について P36 では会社員（契約社員）の割合が高いが、P20 では会社員（正社員）の割合が高く、「特徴と課題」の表記と不一致。	⇒会社員の中でも正社員の割合が高い資料、契約社員の割合が高い資料もあるため、会社員としてまとめました。
9	第3回委員会の資料2 P47②、P52の関連性について 第4回委員会の資料2 P50②、P55の関連性について	
	・職域における環境整備の必要について、課題が基本施策のどこにあてはまるのかがわかりづらい。	⇒課題の表記について、「健康に配慮した職場づくり」と表記し、基本施策の(3)こころの健康づくりの推進につなげる表記にしました。
10	第3回委員会の資料2 P50 計画の数値目標について 第4回委員会の資料2 P53 計画の数値目標について	
	自殺者数を「0」にすることが目標なので、目標値は「0」にすべき。	⇒1人でも自殺者を出さないというのが計画の最終目標ではありますが、6年後の評価については実現可能な数値とするため、国、県に準じて設定しました。
11	第3回委員会の資料2 P57 メンタルヘルスに関する相談の表記について 第4回委員会の資料2 P61 メンタルヘルスに関する相談の表記について	
	メンタルヘルスの相談窓口についての表記してほしい。健康相談は身体のみに対応なのか。	健康相談は身体のみだけでなく、こころに関する相談も実際は行っております。健康相談の中に表記を盛り込みました。